

新堀小学校[第4学年]にいぼりッチタイム 年間指導計画

1 単元名 「新堀小全力オリンピック ～めざせ金メダル～」(16時間)

2 単元の目標

パラリンピックについて調べる活動を通して、スポーツの価値を理解したり、障がいのある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めたりするして、学んだことを、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会やかけがえのない財産にしようとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
パラリンピックの「人」「もの」「こと」にかかわり探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、パラリンピックの特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	パラリンピックの「人」「もの」「こと」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	パラリンピックの「人」「もの」「こと」についての探求的な学習に主体的に・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容  ※東京2020教育プログラム『よい、ドン!』を活用	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連 【教科等】「関連する内容」(時期)	
			にいぼりッチタイム	【教科等】 「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○課題設定のしかた ○オリンピックの精神 ①パラリンピックについて知っていることを話し合う。 ②競技体験をする。 ③アスリート(オリンピック・パラリンピックの話)を視聴し、意見交換をする。 ④課題設定をする。	・パラリンピックの歴史やその精神について、資料映像などを使い興味を持てるようにする。 ・パラアスリートの考え方にふれる。 ※Yチャートを活用し「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を関連付けたり、新たな疑問に気付いたりすることができるようにする。 ★Yチャートを使い情報を関連付けたり、分類したりして新たな疑問を生み出している。【思考・判断・表現】(発言・行動・ワークシート)	「新体力テスト」 「走り幅跳び、走り高跳び、槍投げの世界記録実感」  「出場国についての文化理解」  「世界の人々や文化に関心をもつ」	→ 【体育】「新体力テスト」(4・5月)  → 【外国語】 「Hello, world!」(4月)  → 【道徳】「世界の小学生」(2月)
情報の収集 6時間	○情報活用のしかた ④オリンピックとパラリンピックを比較しながら調べる。	・調べたことが、どこの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・オリンピックと比較しながら調べさせる。  ★知識やその探求技能を身に付けることができている。 【知識・技能】(ワークシート)	「調べる活動」	← 【国語】「分類をもとに本を見つけよう」(6月)
整理・めめる 5時間	○多様性の尊重・共生 ○効果的な伝え方 ⑤調べたことを基に、自分たちの紹介するパラリンピックのよさや課題を整理する。	・オリンピックの精神に立ち戻り、お互いの尊重と共生について考えを深められるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚に訴える見やすい資料作りができるようにする。 ・付箋紙やカードに整理することで、情報を可視化し、友達と交流できるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる。【思考力・判断力・表現力】(ワークシート・発表資料)	「自分の考えの表し方」  「図や資料の効果的な使い方」  「資料を分類整理して表やグラフに表す」	→ 【国語】「写真をもとに話そう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する。(9月) ← 【国語】「リーフレットで知らせよう」(6月)  → 【算数】「見やすく整理して表そう」(3月)
まとめ ・表現 ひろめる 2時間	○効果的な伝え方 ⑥学級・学年間で、パラリンピックの発表を見合う。(1時間) ⑦体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)	・学習したことをこれからの生活にどのように生かしていきたいのかを考えていく。	「国や郷土を愛する態度」	→ 【道徳】「ふるしき」(6月)

1 単元名 「ラグビータウン熊谷を広めよう」(14時間扱い)

2 単元の目標

日本の文化やパナソニックワイルドナイツについて調べる活動を通して、ワイルドナイツやラグビー精神などについて考えるとともに、ラグビータウン熊谷をアピールしようとする人々の思いに気付いたり、仲間と協力して知恵を出し合い問題の解決方法を考えたりしながら、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
パナソニックワイルドナイツの「人」「もの」「こと」にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域のラグビーチームの特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	パナソニックワイルドナイツの「人」「もの」「こと」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	パナソニックワイルドナイツの「人」「もの」「こと」についての探求的な学習に主体的に・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導上の留意点</li> <li>★評価規準【観点】(評価方法)</li> </ul>	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題の見つけ方</li> <li>①パナソニックワイルドナイツについて知っていることを話し合う(1時間)</li> <li>②ワイルドナイツについて調べたいことを決め、学習計画を立てる(1時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像資料や写真等を使い、児童が興味を持てるようにする。</li> <li>ワイルドナイツについて全体で確認をする。</li> <li>※Yチャートを活用し「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を関連付けたり、新たな疑問に気付いたりすることができるようにする。</li> <li>★Yチャートを使い情報を関連付けたり、分類したりして新たな疑問を生み出している。【思考・判断・表現】(発言・行動・ワークシート)</li> </ul>	「ノーサイドの精神」→ 「選手の出身国について」→	【体育】「ラグビー」(4月) 【外国語】「世界のいろいろなことばであいさつしよう」(4月)
情報の収集 4時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報活用の仕方</li> <li>③課題について調べる(4時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットだけでなく、試合や練習を見に行ったり、活動場所やクラブハウスなども見学する計画も立てられるとよい。</li> <li>市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。</li> <li>★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識および技能】(記録ノート)</li> </ul>	「調べる活動」→ 「各国の面積や人口」→	【国語】「分類をもとに本を見つけよう」(6月) 【算数】「1億より大きい数を調べよう」(9月)
整理・分析 5時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多様性の尊重・共生</li> <li>④調べた情報の共通点や相違点について整理する。(2時間)</li> <li>⑤調べたことをまとめる(3時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループで話し合い、必要な情報を整理できるようにする。</li> <li>※ピラミッドチャートを用い、情報の取捨選択をする。</li> <li>※ベン図を用い、共通点や相違点を整理する。</li> <li>興味をひく発表資料をつくることができるようにする。</li> <li>文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。</li> <li>★情報を収集し、比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。【思考力・判断力・表現力】(ワークシート・発表資料)</li> </ul>	「まとめる活動」	←【国語】「見学したことを報告しよう」(6月)
まとめ・表現 3時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効果的な伝え方</li> <li>⑥学級で発表会を開く(2時間)</li> <li>⑦発表を通して、考えたことをまとめる(1時間)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べた国ごとにグループで発表できるようにする。</li> <li>友達の発表を聞き、考えたことを書けるようにする。</li> <li>★調べたことを自分自身と結びつけて振り返りができている【学びに向かう力・人間性等】(振り返りカード)</li> </ul>	「発表する活動」→	【国語】「調べてわかったことを発表しよう」(1月)

1 単元名 「環境にやさしい熊谷をアピールしよう！」(17時間扱い)

2 単元の目標

自分たちの町のよさを見つけたり、地域の人話を聞いたりして、自分たちの町をよりよくするための活動を通して、町の環境を守ることに関わっている人々の思いに気づき、仲間と協力して知恵を出し合い、問題の解決方法を考えるとともに、学んだことを自らの生活に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
熊谷の環境保全の「人」「もの」「こと」にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の環境保全の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	熊谷の環境保全の「人」「もの」「こと」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	熊谷の環境保全の「人」「もの」「こと」についての探求的な学習に主体的に・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定時間 3時間	○課題の見つけ方 ①環境問題について話し合う。 ②環境にやさしいまち・熊谷として何ができるか話し合う。(2時間)  ③調べたいことを決め、学習計画を立てる(1時間)	・映像資料や写真等を使い、児童が興味を持てるようにする。 ・環境問題について知っていることを全体で共有する。 ※Yチャートを活用し「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を関連付けたり、新たな疑問に気付いたりすることができるようにする。 ★Yチャートを使い情報を関連付けたり、分類したりして新たな疑問を生み出している。【思考・判断・表現】(発言・行動・ワークシート)	「環境問題」	←【社会】ごみ処理とその利用(7月)
情報の収集 6時間	○情報活用の仕方 ④課題について調べる(6時間)	・インターネットだけでなく、地域を探検したり家の人にインタビューしたりできるとよい。 ・市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ・社会科見学も活用する。 ★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識および技能】(記録ノート)	「太陽光発電」	→【理科】光電池の働き(6年)
整理・分析 5時間	○多様性の尊重・共生 ④調べた情報を大切な順に整理する。(1時間) ⑤「環境に優しい熊谷」として、これから自分たちが何をしたいか考える。(1時間) ⑥調べたことをまとめる(3時間)	・グループで話し合い、必要な情報を整理できるようにする。 ※ピラミッドチャートを用い、情報の取捨選択をする。 ※ベン図を用い、共通点や相違点を整理する。 ・興味をひく発表資料をつくることができるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、比較したり関係付けたりしながら解決に向けて考えている。【思考力・判断力・表現力】(ワークシート・発表資料)	「コミュニケーションの図り方」  「まとめる活動」  「漢字辞典の使い方」	→【国語】クラスで話し合おう(9月)  →【国語】「学級新聞を作ろう」 →【国語】「漢字辞典の使い方」 ←【国語】伝わりやすい組み立てを考えて書こうリーフレットで知らせよう
まとめ・表現 ひろめる 3時間	○効果的な伝え方 ⑦学級で発表会を開く(2時間) ⑧発表を通して、考えたことをまとめる(1時間)	・調べたことをもとに発表できるようにする。 ・友達の発表を聞き、考えたことを書けるようにする。 ★調べたことを自分自身と結びつけて振り返りができている 【学びに向かう力・人間性等】(振り返りカード)	「発表する活動」	→【国語】「調べてわかったことを発表しよう」(1月)

1 単元名 「パラリンピックから学ぼう」(15時間扱い)

2 単元の目標

障がいのある人との共生を課題に、関わる活動を通して、障がいのある人を支える取組、工夫や努力、人々の思いに気づき、「みんなにやさしいまち(すべての人が互いを大切にできる地域)」について考えるとともに、「自分にできることは何か」の視点をもって学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
パラリンピックの「人」「もの」「こと」にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、みんなにやさしいまちの特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	パラリンピックの「人」「もの」「こと」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	パラリンピックを通して、障がいのある人やボランティアの在り方についての探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設 定 2 時 間	○課題の見つけ方 ①目や耳に障がいのある人とふれ合うためにはどんなことをしたらよいかを話し合い、各自の課題を決める(1時間) ②活動計画を立てる(1時間)	・パラリンピックで活躍する選手の映像や写真を見せ、児童が学習に興味を持てるようにする。 ※Yチャートを活用し「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を関連付けたり、新たな疑問に気付いたりすることができるようにする。 ★Yチャートを使い情報を関連付けたり、分類したりして新たな疑問を生み出している。【思考・判断・表現】(発言・行動・ワークシート)	「パラリンピック」 「体のづくり」	→【総合】「新堀小全カオリンピック」(4月) →【理科】「体のつくりと運動」(5月)
情報 の 収 集 5 時 間	○情報活用の仕方 ③自分たちの課題に沿って活動する。(3時間) ④車いす体験、アイマスク体験をする。(2時間)	・学校の中の様子や点字、点字ブロックについて調べるようにする。 ・点字ボランティアの方を招き、点字について学ぶようにする。 ・車いすやアイマスクの使い方を確認する。 ★知識やその探求技能を身に着けることができている。【知識および技能】(記録ノート)	「調べる活動」 「点字ブロックの形」 「相手への思いやり」	→【国語】「分類をもとに本を見つけよう」(6月) →【算数】「四角形を調べよう」(6月) →【道徳】「心と心のあく手」(4月)
整 理 ・ め か め 分 析 5 時 間	○多様性の尊重・共生 ⑤体験して考えたことを話し合う。(1時間) ○体験に基づいた考えの書き方 ⑥体験したことをまとめる。(4時間)	・体験を通して考えたことわかったことをについて意見交換をするようにする。 ・体験や意見交流等を通して考えたことや、パラリンピック開催時のボランティアの在り方についての考えを書く。 ・見る人にどのようなはたらきかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、興味をひく発表資料をつくることのできるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる 【思考力・判断力・表現力】(ワークシート・発表資料)	「コミュニケーションの回り方」 「まとめる活動」	→【国語】クラスで話し合おう(9月) 【国語】「見学したことを報告しよう」(6月)
ま と め ・ ひ ろ め る 表 現 3 時 間	○効果的な伝え方 ⑦学級で発表会を開く(2時間) ⑧発表を通して、考えたことをまとめる(1時間)	・調べたことをもとに発表できるようにする。 ・友達の発表を聞き、考えたことを書けるようにする。 ★調べたことを自分自身と結びつけて振り返りができている 【学びに向かう力・人間性等】(振り返りカード)	「発表する活動」	→【国語】「調べてわかったことを発表しよう」(1月)

1 単元名 「10歳の主張 ～将来の自分へ～」(5時間扱い)

2 単元の目標

自分のことをふり返ったり、家族にインタビューしたりする活動を通して、身近な人に関わるよさや自分の成長に気付くとともに、支えてくれた人々の思いに気付き、「感謝の気持ち」や「自分にできることは何か」の視点をもって学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
自分の成長の「人」「もの」「こと」にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分の特徴やよさが分かり、それらが人々によって支えられていることを理解している	自分の成長の「人」「もの」「こと」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	自分の成長についての探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 1時間	○課題設定のしかた ①自分のこれまでの成長を振り返り、自分の良さや将来の目標について確かめる。(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>どのような活動があるか全体で確認する。</li> <li>自分の興味や特徴を生かして活躍できる将来を思い描けるようにする。</li> </ul>	「自分の夢」  「自分の成長」	→ 【道徳】「よいところさがし」(5月)  → 【体育】「育ち行くからだと私」(12月) ← 【国語】伝えたいことをはっきりさせて書こう □自分の成長をふり返って(2月)
情報の収集 1時間	○情報収集のしかた ②自分の就きたい職業について、図書館の本やインターネット、インタビューなどを通して調べ、情報を集める。(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭等から資料を持ち寄り、自分の興味にそった調べ活動ができるようにする。</li> <li>キャリア教育サイトや、職業情報についてのサイトが利用できるように、ブックマークをしておく。</li> </ul> <p>★知識やその探求技能を身に着けることができている。【知識および技能】(記録ノート)</p>	「調べる活動」	→ 【国語】「分類をもとに本を見つけよう」(6月)
整理・分析 2時間	○情報活用のしかた ③集めた情報をもとに、要点をまとめるための取捨選択をし、発表資料にまとめる。(1時間) ○多様性の尊重・共生 ④体験して考えたことを話し合うことで、多様な考え方にふれる。(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業に就くために、どのような訓練をすればよいかだけではなく、どのような心構えがあればよいか明らかにできるようにする。</li> </ul> <p>★情報を収集し、整理分析することができる【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の就きたい職業について知ること、今後の学級生活で活用できるようにする。</li> </ul>	「みんなのためになる努力」  「要点を捉えて表現する」	→ 【社会】ごみの処理と利用(6月)麦の生産量を増やす(11月)  → 【国語】「新聞を作ろう」6月
まとめ・表現 ひろめる 1時間	○効果的な伝え方 ⑤学級で発表会を開く(1時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをもとに自分の言葉で発表ができるようにする。</li> <li>友達の発表を聞き、考えたことを書けるようにする。</li> </ul> <p>★調べたことを自分自身と結びつけてふり返りができている【学びに向かう力・人間性等】(ふり返りカード)</p>	「発表する活動」	→ 【国語】「調べてわかったことを発表しよう」(1月)